

市長が行く



茂原市長 田中豊彦

ロケの聖地 茂原！

千葉もばらロケーションサービスについては以前この欄でも紹介しましたが、

ロケ誘致によるこの地域の活性化を目指し、約2年前にスタートしました。その後、順調に撮影が決まり、実績を重ねてきております。最近では、今話題の二宮和也さん主演の「浅田家！」で、榎町商店街と公立長生病院が使われ、吉沢亮さん・杉咲花さん主演の「青くて痛くて脆い」では旧本納公民館新治分館と旧新治保育所が使われています。ロケ地の準備やお手伝いに、市の職員をはじめ、市民有志の方々も奔走し、受け入れ態勢を整えて協力してきました。また、今後は、ロケ誘致を推進している全国4市町（長野県千曲市、愛知県幸田町、長崎県島原市、そして茂原市）が連携して撮影に協力する映

画「今はちよっと、ついえないだけ」の撮影も予定されております。

先日その打ち合わせとPRを兼ねて、「千葉もばらロケーションサービスセミナー」が市役所市民室で開催されました。そこで改めて紹介されたのですが、茂原市にはロケ地として、日本の中でもトップクラスの500本以上のオフアールがあったそうです。このロケ地としての茂原市の人気の理由は、①学校・病院・商店街など日常の見慣れた風景を撮れる場所が豊富、②都心から1時間で来られるという好立地、③官民一体で撮影を応援・窓口一本化で市が取りまとめをする、などが挙げられます。

この2年間でロケ地となった場所も増え、協力して下さる事業者も増えてきています。ロケをきっかけにして市が盛り上がり、これが茂原市

のPRへとつながり、少しでも地域の活性化につながっていくことを大いに期待しております。

最近とはかく暗いニュースが多く、自然災害への恐怖やウイルスとの闘いに日々追われておりますが、このように少しでも前向きになれることにオール茂原で力を尽くしていけることは、とてもうれしいことです。これまでの撮影では、茂原市は一部でしたが、次はすべて茂原市を舞台にした映画の誘致を目指すとアドバイザーで（一社）ロケツーリズム協議会の藤崎慎一会長は大きな目標を語られました。それが実現したら、茂原に住んでいる者としてこんなに楽しいことはありません。